



# ひ ゆ ー ま ん ら い つ

第232号 2021(令和3)年

## 人権啓発パネル(タペストリータイプ)を作りました!

米子市人権情報センターでは、法務省の人権啓発活動地方委託事業を活用し、新たに人権啓発パネルを作成しました。文化祭やイベント等での展示にぜひご活用ください。

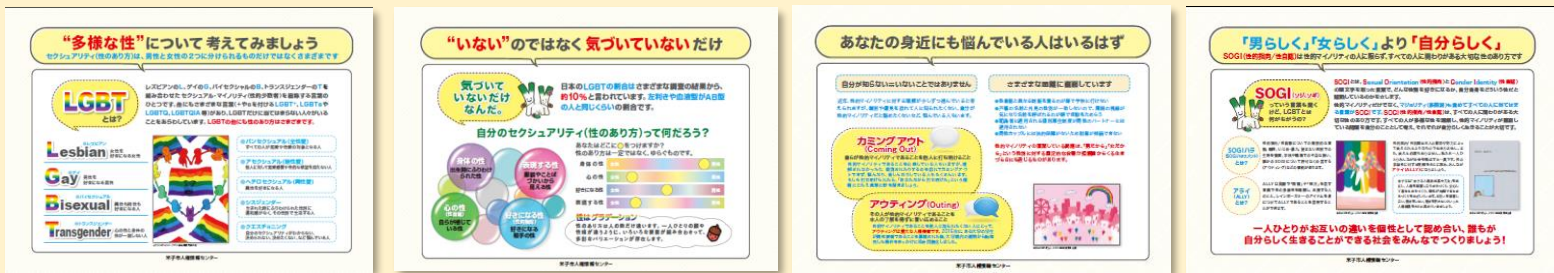
パネルはタペストリータイプで、1枚ずつ巻いて収納でき、持ち運びに便利です。  
サイズ 1030mm×728mm(B1判)

他にもさまざまな人権課題をテーマにしたパネルを用意しています。  
貸出希望時期が重なることがありますので、事前にお問い合わせください。

### ◆LGBTについて 4枚組 (ヨコ)

- ・ 多様な性について考えてみましょう
- ・ ”いない”のではなく”気づいていない”だけ
- ・ あなたの身近にも悩んでいる人はいるはず
- ・ 「男らしく」「女らしく」より「自分らしく」

パネルの中のイラストは、令和元年度米子市LGBTポスターデザイン募集の最優秀賞作品1点、優秀賞作品3点を使用しています。



### ◆リボンの意味はどんな意味? 1枚(タテ)

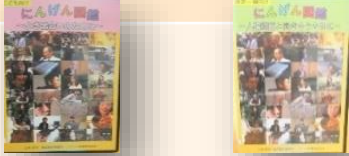



「アウェアネス」は「意識・気づき」の意味  
リボンを身につけたりすることで、その問題に理解と支援をしていることを示します  
リボンの意味を知りお互いの人権を大切にしましょう



みなさんのもっと身近な存在でありたい!  
米子市人権情報センターに、お気軽にお立ち寄りください!



# 新しいDVDが入りました！

タイトル	内容
<b>にんげん図鑑</b> 中学・一般向け (30分)	マイノリティをテーマ・題材に人間に寄り添う映像制作を続ける田中幸夫監督のドキュメンタリー映画とビデオ作品を再構成。あらゆる人権課題に対する向き合い方を、大人にも子どもにも分かりやすく提示。
<b>にんげん図鑑</b> こども向け (23分)	
<b>つなぐ×なくす 岡本工介</b> (25分)	 グローカル(グローバル+ローカル)な生き方で人権問題と向き合う岡本工介。アメリカの先住民族や黒人への差別、日本の部落差別や障がい者差別、それらの過酷な現実を体験する中でつかみ取った独自の具体的実践の数々。
<b>ハンセン病問題を知る</b> ～元患者と家族の思い～ (34分40秒)	隔離政策によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、ハンセン病元患者やその家族のエピソードをアニメーション化し、国立ハンセン病資料館学芸員の解説と共に収録。偏見や差別のない社会実現について考えるためのDVD。
<b>セクハラ・パワハラ処方箋</b> プログラム1(22分) プログラム2(30分) プログラム3(18分) プログラム4(23分)	 職場での実践で問題解決を！メンタルヘルスの不調の予防・対応に効果絶大。健全な職場づくりに必要不可欠な人権感覚習得のヒント満載。 プログラム1 「セクハラ・パワハラは人権問題です」 プログラム2 「ご存じですか？刑法・民法<均等法」 プログラム3 「理性と感情、どちらで動きますか？」 プログラム4 「最新対処法アンガーマネジメント」
<b>カンパニユラの夢</b> (36分)	 急速に高齢化が進む今、8050問題は誰にでも起こりうる問題と認識し、地域の人々がひきこもりなどの悩みを共有し偏見をなくすとともに、お互いに助け合うことで地域共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマ。

さまざまな人権問題について、「知らない」「わからない」「関心がない」では何も変わりません。今、どんな問題があるのか、自分に何ができるのか、何をしなくてはならないか、DVDを視聴して考えてみませんか？

米子市人権教育推進員が出向き、DVD鑑賞後、少しまとめのお話をする事も承っております。お気軽にお問合せください。

人権情報センター 土日祝日を除く8時半～18時

DVDの貸し出しは1人3枚まで、期間は2週間以内です。

時間外の返却も、24時間365日いつでもOK。市役所第2庁舎玄関前の「おかえりBOX」へお願いいたします。

